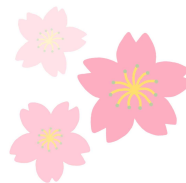


# さくら



令和7年9月25日(木)

## 合唱コンクールに向けて



昨日も、各クラスとも合唱コンクールに向けて練習に励んでいました。笑顔で大きな声で歌っている姿が印象的でした。皆さんが、懸命に物事に取り組む姿は美しいものです。合唱コンクールは、歌声を発表するだけでなく、仲間とともに一つの目標に向かって力を合わせる貴重な機会です。

合唱は一人ひとりの声を合わせて、一つの美しいハーモニーを奏でることが目標です。そのためには、自分のことだけではなく、全体の調和を考えることが必要です。仲間の声を聴きながら自分の声を合わせていく。そうすることで、より良い合唱が実現できます。加えて、自分たちの合唱をよりよいものにするためには、次の2つのことが大切であると私は思います。

一つ目は、「異なる意見を交わす」ということです。クラスで何かを創り上げようとするとき、先生に指示どおりにしておけば良いものができるでしょうか。結論は否です。皆さん一人ひとりが取組に参加し、それぞれの思いを交わすことが重要です。時には衝突することもあるでしょう。合唱であれば、曲の解釈や歌い方について意見が異なることもあるでしょう。「ここはもっと強く歌いたい」、「いやいや強すぎるとくどくなる」など。異なる意見を交わし、その中でより良い選択肢を見つけてこそ、より良い結果が生まれ絆が深まるのです。

二つ目は、誰かが失敗しても互いにフォローし合うことです。例えばピアノの伴奏が止まっても、歌い手は止まらずに歌い続け、ピアノ奏者をサポートします。このようなフォローの精神が信頼関係を深め、より良いパフォーマンスを実現します。最もしてはならないことは、他者の失敗を責めることや、責任を転嫁することです。

これらのことは、音楽だけでなく、日常生活でも役立つ姿勢です。私たちは協力し合うことや、異なる意見を交わす中でより良い選択肢を見つめることで、個人では成し得ない素晴らしい成果を生み出せるのです。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

